



アンビエントをテーマにした視聴覚芸術の展覧会 AMBIENT KYOTO 2023

最新情報のご案内

- 撮り下ろし 作品 スペシャルムービーを2023年11月20日（月）より期間限定公開
- コラボレーションイベント ACTIONS in AMBIENT KYOTO 12月10日（日）開催決定



Credits [Key Visual] Artwork design by Alex Somers / Logo design by Seri Tanaka

2023年10月6日（金）より12月24日（日）まで、京都の2会場を舞台に開催されている、アンビエントをテーマにした音・映像・光のインスタレーション展「AMBIENT KYOTO 2023」より最新情報をお送りします。

参加アーティスト 坂本龍一 + 高谷史郎、コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一 の作品動画を、会場ごとに撮り下ろし、11月20日（月）より2023年末まで、期間限定で公開いたします。

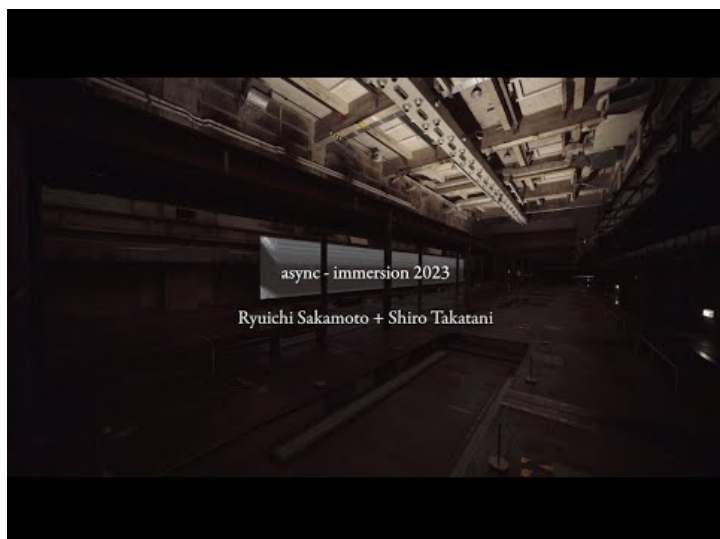
また、「AMBIENT KYOTO 2023」とのコラボレーションイベントとして、「ACTIONS in AMBIENT KYOTO」の開催が決定しました。12月10日（日）には、「坂本龍一 + 高谷史郎 | async - immersion 2023」作品が展開されている京都新聞ビル地下1階にて、ライブ・パフォーマンスが行われます。

その他、「Farmoon x Miu Sakamoto "wonder" X AMBIENT KYOTO 2023」が開催されるなど、会期終了までさまざまなコラボレーションイベントも実施する予定です。

動画およびコラボレーションの詳細は、2P～4Pをご覧ください。

会期も折返し地点を迎えた「AMBIENT KYOTO 2023」をさまざまな角度からお楽しみください。

撮り下ろし 作品 スペシャルムービー

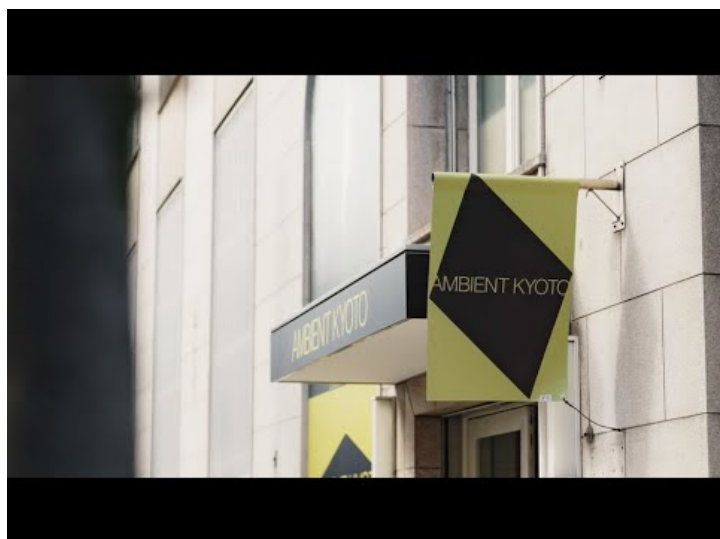


動画リンク：<https://youtu.be/6TzTRUIqb9A>

会場：京都新聞ビル地下1階
坂本龍一 + 高谷史郎 | async - immersion 2023

坂本龍一が2017年に発表したスタジオ・アルバム『async』をベースに制作された高谷史郎とのコラボレーション作品の最新版。京都新聞ビル地下の広大な空間を使い展開するサイトスペシフィックなインスタレーション。

映像プログラミング：古舘 健
音響ディレクション：ZAK



動画リンク：<https://youtu.be/70Y0hRh3EjM>

会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター
Cornelius、Buffalo Daughter、山本精一 3組のアーティスト作品

Cornelius	QUANTUM GHOSTS TOO PURE 霧中夢 -Dream in the Mist-
Buffalo Daughter	Everything Valley ET(Densha)
山本精一	Silhouette

詳細は下記よりご覧ください。

作品詳細・アーティストコメント

<https://ambientkyoto.com/exhibition>

作品 & アーティスト概要資料

https://www.how-pr.co.jp/pressrelease/2023_AmbientKyoto_works.pdf

コラボレーションイベント

ACTIONS in AMBIENT KYOTO

京都新聞本社ビル地下1階の坂本龍一+高谷史郎による「async - immersion 2023」のために設置された横幅20mを超えるLEDスクリーン、そして、30台以上のスピーカーを活用した4組のコラボレーション・ライブ・パフォーマンスを開催します。広大な空間にエクスペリメンタルな音響が漂います。終演後にはmetroにてアフターパーティーを開催予定。

開催概要

日時：12月10日（日）18:00-

会場：京都新聞ビル地下1階

その他詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://interference-resonance.ekran.jp/actions-in-ambient-kyoto>

ライブパフォーマンス

- ・原摩利彦と中山晃子が初のコラボレーション。
- ・古舘 健とYPYこと日野浩志郎によるオーディオビジュアルのデュオパフォーマンス。
- ・近年、クラブ／レイブシーンで大きく注目を集めるE.O.U.のパフォーマンスに、AIとジェネラティブアートを組み合わせたビジュアル作品を発表しているSaeko Eharaが映像で参加。
- ・現代美術と音楽の間で活動する小松千倫と新進ビジュアルアーティストであるjvnpeyによるコラボレーションパフォーマンス。

コラボレーションイベント

Interference, Resonance: Sound Art / Audio Visual Performance showcase

ACTIONS in Ambient Kyoto

出演者プロフィール抜粋

Marihiko HARA + Akiko NAKAYAMA

坂本龍一氏とのコラボレーションや、東京オリンピック開会式にの一部音楽を担当、令和3年度京都府文化賞奨励賞受賞するなど、京都を代表する若手ミュージシャン、原摩利彦。そしてリアルタイムに画材を反応させ多様なビジュアルを作り出す「Alive Painting」で知られる中山晃子によるコラボレーションパフォーマンス。



原摩利彦 / Marihiko HARA

音楽家。京都在住。静けさの中の強さを軸にピアノを中心とした室内楽やフィールドレコーディング、電子音を用いた音響作品を制作する。野田秀樹やダミアン・ジャレ（坂本龍一と連名にて参加）をはじめとした舞台作品や、映画《流浪の月》（監督: 李相日）、東京オリンピック開会式追悼式(森山未來出演パート)の音楽を手がける。令和3年度京都府文化賞奨励賞受賞。



中山晃子 / Akiko NAKAYAMA

画家。東京在住。色彩と流動の持つエネルギーを用い、様々な素材を反応させることで生きている絵を出現させる「Alive Painting」シリーズで知られる。リアルタイムに様々なメディウムや色彩を混ぜ合わせていくことで、絶えず変容していく作品は、即興的な詩のようでもある。大規模なオーケストラとの共演も含め、世界で最も歴史のあるメディアアートフェスティバル「ARS ELECTRONICA」など、国内外、さまざまなフェスティバルなどで作品を発表している。

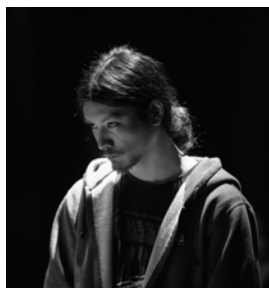
Ken FURUDATE + YPY(Koshiro HINO)

80年代より京都を拠点に活動を始め数々の歴史的作品を作り出してきたアーティストグループDumb Typeの若手メンバーであり、個人としても文化庁メディア芸術祭で大賞を受賞するなどアーティスト、ミュージシャンとして活動する古舘健。大阪を拠点に、関西の電子音楽会におけるキーパーソンとして、多大な支持をうけるミュージシャンYPYこと、日野浩志郎によるコラボレーションパフォーマンス。



古舘健 / Ken FURUDATE

アーティスト／ミュージシャン／エンジニア。京都在住。サインウェーブやパルスなどのミニマムな要素とその特性を拡張させて複雑な音響現象を作り上げる。サウンド・インスタレーション「Pulses/Grains/Phase/Moiré」にて、文化庁メディア芸術祭大賞を受賞(2019)。高谷史郎、坂本龍一を始め、様々な作家の制作に参加している。2013年よりDumb Typeメンバー。



YPY | 日野浩志郎 / Koshiro HINO

作曲家／ミュージシャン。大阪在住。電子音楽を主軸としたソロプロジェクトYPYをはじめ、様々なユニットで活動。佐渡島の太鼓芸能集団鼓童と滞在制作を行い書き下ろした90分に及ぶ楽曲群を映画化した『戦慄せしめよ / Shiver』（監督: 豊田利晃）を2022年に発表。坂本龍一キュレーションによるイギリスのフェスティバルMODEに参加。また、国内外のアンダーグラウンドミュージシャンのリリースを行うカセットレーベル「Birdfriend」や、コンテンポラリー／電子音楽をリリースするレーベル「Nakid」も主宰。

Kazumichi KOMATSU + jvnpey



小松千倫 / Kazumichi KOMATSU

音楽家、美術家、DJ。京都在住。2010年ころよりMadeggという名義で音楽を始め、当時のアンダーグラウンドシーンを席卷。2015年ころより、より批評的な視点から現代美術家として活動を始める。これまでに、複数の名義で膨大な数の音源をリリース。情報環境下における情報とそれに隣した身体の関係、その記憶や伝承のスピードを調整する諸技術について光や音をもちいて作品制作・研究を行なっている。



jvnpey

ビジュアルアーティスト。2004年生まれ、京都在住。弱冠19才ながら、そのセンスを地元の若手ミュージシャンに支持され、これまでに多くのアーティストのビジュアルをディレクションしてきた。2020年代の、インターネット以降のリアルなセンスを、批評的に表現する。

コラボレーションより抜粋

全てのコラボレーションはWebサイトよりご覧ください。 <https://ambientkyoto.com/collaborations>

京都CLUB METRO



日本で最も長い歴史を誇る老舗クラブ、京都CLUB METROと共に企画した、アンビエントやアートの関連イベントを会期中に実施します。 <https://www.metro.ne.jp/>

「AMBIENT KYOTO x Buffalo Daughter」 12月3日(日)

バッファロー・ドーターのシュガー吉永・大野由美子による、同展にちなんだ特別セットでのLIVE。同じくAMBIENT KYOTOでインスタレーションを発表している山本精一がゲスト参加。DJにはレーベル“Seeds And Ground”を主宰し、Chari Chari名義でもお馴染みのDJ/プロデューサーKaoru Inoue、実験音楽やアートシーンとも自在に行き来する威力が新たな名義 "1729"で登場します。

Phewと大友良英によるスペシャルセット 12月14日(木)

英国の有力音楽誌『The Wire』の表紙を飾るなど、世界的に高い評価を集めるPhewと大友良英によるスペシャルセットが実現。

Farmoon



Farmoon x Miu Sakamoto "wonder" X AMBIENT KYOTO 2023

料理家 船越雅代のプライベートレストラン『Farmoon』にて坂本美雨と原摩利彦による初めてのアンビエントセッションが行われます。何気ない毎日の中に溢れている“ワンダー”をテーマに、坂本美雨の澄み渡る声と原摩利彦の奏でる音をFarmoonの空間で楽しめる一夜。同じく“ワンダー”を題材にした料理が振る舞われ特別な時間となることでしょう。

お申込方法、詳細は下記リンクよりご確認ください。

<https://ambientkyoto.com/collaborations/x0kyd-2dx84>

サウナ 梅湯



サウナの梅湯 x Cornelius

京都の銭湯文化を守る聖地「サウナの梅湯」とコーネリアスが、AMBIENT KYOTO特別企画としてコラボレーション。会期中「サウナの梅湯」、系列店「源湯」「鴨川湯」でコーネリアスが選んだプレイリストが流れます。また、＜梅湯xコーネリアスxAMBIENT KYOTO＞の特製タオルを、展覧会会場ショップ、梅湯のほか、系列店の「源湯」、「鴨川湯」でも好評発売中。

詳細は下記リンクよりご覧ください。

https://ambientkyoto.com/collaborations/ix_eymbtuc3z

和泉 侃



「聴覚のための香りのリサーチ」

和泉 侃とAMBIENT KYOTOのコラボレーションとして、音楽作品の体感を高めることをテーマに、嗅覚から聴覚へアプローチする香りを制作。本展の展示空間をコンディショニングしています。その香りは「聴覚のための香りのリサーチ」と名付けられ、AMBIENT KYOTO 2023のオリジナルフレグランスとして会場ショップほかで販売中。

「聴覚のための香りのリサーチ」 ¥5,500 (税込) 制作：和泉 侃 (いずみ かん)

詳細は下記リンクよりご覧ください。

<https://ambientkyoto.com/collaborations/dr5lnrw9rh>

AMBIENT KYOTO 2023 開催概要

タイトル：AMBIENT KYOTO 2023（アンビエント・キョウト2023）

参加アーティストおよび会場：

〔展覧会〕 坂本龍一 + 高谷史郎：京都新聞ビル地下1階

コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一：京都中央信用金庫 旧厚生センター

〔ライブ〕 テリー・ライリー：東本願寺 能舞台 日程：10月13日（金）、14日（土） 終了

コーネリアス：国立京都国際会館 Main Hall 日程：11月3日（金・祝） 終了

〔朗読〕 朝吹真理子：ポッドキャスト配信

展覧会会期：2023年10月6日（金） - 12月24日（日） 9:00 - 19:00 入場は18:30まで

休館日：11月12日（日）、12月10日（日）

チケット：一般 ¥3,300 / 専・大学生 ¥2,200 / 中高生 ¥1,800 小学生以下無料

※チケット購入ウェブサイト：<https://ambientkyoto.com/tickets>

※京都新聞地下1階のみ、一部無料枠を設けます

Website. <https://ambientkyoto.com/>

Twitter. <https://twitter.com/ambientkyoto>

Instagram. <https://www.instagram.com/ambientkyoto>

Facebook. <https://www.facebook.com/ambientkyoto>

昨年好評を博したBRIAN ENO AMBIENT KYOTOの第二弾「AMBIENT KYOTO 2023」。本年度の会場は広大な印刷工場跡（京都新聞ビル地下1階）と、昨年度も会場となった築93年の京都中央信用金庫 旧厚生センターの2会場で展開します。

京都新聞ビル地下1階の広大な印刷工場跡では、坂本龍一のマスターピース『async』を、長年の盟友 高谷史郎による映像と、ZAKによる立体音響によって完成したサイトスペシフィックな大規模インスタレーション作品《async - immersion 2023》を展示。この場所でしか実現し得ない、幅26.4mのLEDパネルを使った作品となっています。

京都中央信用金庫 旧厚生センターでは、革新的な作品を生み出し続け、世界的な評価を得てきたアーティスト、Cornelius、Buffalo Daughter、山本精一によるアンビエントをテーマに表現した作品を展示しています。Cornelius、Buffalo Daughterは、既存作品を本展だけの特別演出でインストールしているほか、京都在住のアーティスト山本精一による書き下ろしのアンビエント作品『Silhouette』を映像を伴う作品として初公開。

建物全フロアを、ZAKによる立体音響を軸に、アンビエントな光、映像、霧、そして和泉侃による「聴覚へアプローチする」香りで演出。さまざまな感覚をひらき、全身で楽しめる体験型のインスタレーション作品に創り上げました。

昨年のブライアン・イーノから引き継ぐアンビエント性も継続しながら、本展では「新しいアンビエントの形」を発信していきます。

展覧会会場アクセス

1. 京都中央信用金庫 旧厚生センター



参加アーティスト

コーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一

〒600-8219京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

電車：JR京都駅より徒歩5分 / バス：市バス烏丸七条バス停より徒歩1分

2. 京都新聞ビル地下1階



参加アーティスト

坂本龍一 + 高谷史郎

〒604-8567

京都府京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239

地下鉄烏丸線・丸太町駅下車 7番出口すぐ

地下鉄東西線・烏丸御池駅下車 1番出口から徒歩7分

ABOUT AMBIENT KYOTO

アンビエントをテーマにした音・映像・光のインスタレーション展

AMBIENT × KYOTO —— 世界的文化都市・京都を舞台に展開する、アンビエントミュージックの祭典、「AMBIENT KYOTO」。

2回目の開催となる今年は、2023年10月6日（金）より12月24日（日）にかけ、あらたな会場となる京都新聞ビル地下1階に坂本龍一 + 高谷史郎、そして昨年に引き続き築93年の歴史的建築物である京都中央信用金庫 旧厚生センターにコーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一を迎え、音と映像、そして光のインスタレーションが展開されます。

アンビエントと京都の共創

さまざまな解釈をもつ「アンビエント」という言葉。私たちの生活を取り囲んでいるもの、その周囲にあるものが「アンビエント」であり、アンビエント・ミュージックはそれが流れる環境・風土の一部となる音楽ともいえます。変化を続ける社会のなかで、この定義もまた変容し、多様化しつつある現代。「アンビエント」な感性は、これから人間が環境・地球とどう向き合っていくべきかといった新たな価値観にもつながっています。

アンビエント・ミュージックを拡張する、あらたな視聴覚体験

本展は、京都の風土・文化・人々と共に作りあげ、この地ならではのアンビエント・ミュージックの祭典として世界に発信していきます。それぞれの作品にスペシャライズされた展示室内で音響ディレクターのZAKによって緻密に設計された音空間に包まれ、作品世界を拡張する映像と光の演出によって、私たちを取り囲む気配／空気／雰囲気が変わる、あらたなアンビエント・ミュージックの視聴覚体験となるはずです。

AMBIENT KYOTO CREDIT

展示ディレクション（京都中央信用金庫 旧厚生センター）／音響ディレクション：ZAK

照明ディレクション／デザイン：高田政義（RYU inc.）

音響：東 岳志、山本哲哉、濱 哲史、渡邊武生、赤川純一、細井美裕、橋本敏邦（T-SPEC）

照明：上田 剛（RYU inc.）

美術造作：土井 亘（dot architects）

舞台監督：尾崎 聡

空間ディレクションアドバイザー（京都中央信用金庫 旧厚生センター）：高谷史郎

香り：和泉 侃

キービジュアル：Alex Somers

アートディレクション：田中せり

デザイン：宿谷一郎、岡本太玖斗

制作：清水聡美、相沢あい

運営統括：糸魚健一

プロデューサー：竹下弘基（TOW）、中村周市（Traffic）

実行委員会ディレクター：磯谷香代子、川崎仁美

プロジェクト・マネージャー：關 秀哉（RYU inc.）

主催：AMBIENT KYOTO 2023 実行委員会（TOW / 京都新聞 / Traffic / 京都アンプリチュード）

企画制作：TOW / Traffic

協力：文化庁 / α-STATION FM KYOTO / 京都 CLUB METRO / 株式会社サンエムカラー / 小川珈琲株式会社 / 株式会社ハッピーマンデー / CCCアートラボ

後援：京都府 / 京都市 / 公益社団法人京都市観光協会 / FM COCOLO

音響機材協賛：Genelec Japan / ゼンハイザージャパン / 株式会社静科 / 株式会社MSI JAPAN大阪 / アビッドテクノロジー / Synthax Japan / Abendrot International LLC / Sonos Japan

映像機材協賛：bricks & company / Magnux

技術協力：パナソニック株式会社

協賛：Square

広報協力：HOW INC.

特別協力：京都中央信用金庫

メディアお問合せ窓口

HOW INC.

MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp TEL：03-5414-6405 FAX：03-5414-6406

お客様お問合せ先

AMBIENT KYOTO

MAIL: info@ambientkyoto.com

参考資料：作品紹介抜粋 (1/2)

作品およびプロフィールの詳細資料は下記よりご覧ください

https://www.how-pr.co.jp/pressrelease/2023_AmbientKyoto_works.pdf

[京都新聞ビル地下1階]

坂本龍一 + 高谷史郎 | async – immersion 2023



« async – immersion 2023 » photo : Satoshi Nagare

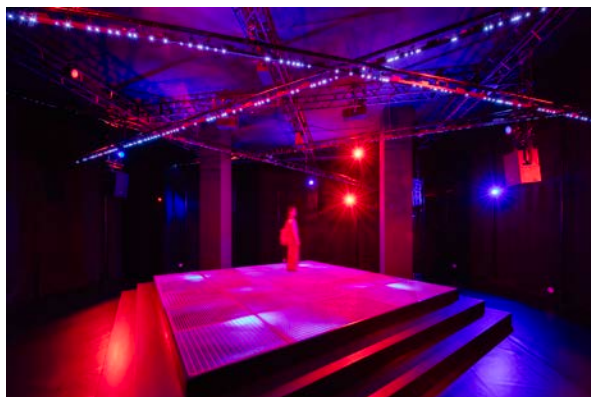
坂本龍一が2017年に発表したスタジオ・アルバム『async』をベースに制作された高谷史郎とのコラボレーション作品の最新版。京都新聞ビル地下の広大な空間を使い展開するサイトスペシフィックなインスタレーション。

映像プログラミング：古舘 健

音響ディレクション：ZAK

[京都中央信用金庫 旧厚生センター] Cornelius（コーネリアス）

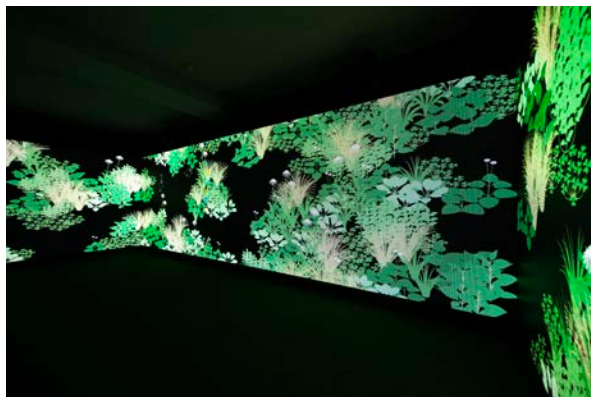
groovisionsによる映像作品や高田政義による照明と、ZAKによる立体音響がシンクロして生み出される視聴覚体験。



« QUANTUM GHOSTS » photo : Satoshi Nagare

QUANTUM GHOSTS (1F展示室 / 4:24min)

本館で最も大きな展示室で行われる、360度に配置された20台のスピーカーから鳴らされる音像と、高田政義による照明がシンクロする作品。音楽は7inchシングル「火花」のカップリング曲。



« TOO PURE » photo : Satoshi Nagare

TOO PURE (2F展示室 / 3:31min)

groovisions制作の映像作品が立体スクリーンに映し出される、7.1chの音と映像の作品。音楽は、最新アルバム『夢中夢 -Dream In Dream-』収録曲。



« 霧中夢 – Dream in the Mist – » photo : Satoshi Nagare

霧中夢 – Dream in the Mist – (3F展示室 / 7:00min)

特殊演出による霧と、照明、音が相互作用しあう空間。
音楽は、アルバム『夢中夢 -Dream In Dream-』収録曲。

Loo

展示室以外の会場の空間で、本展のために書き下ろされた新曲をお楽しみいただけます。

参考資料：作品紹介 (2/2)

[京都中央信用金庫 旧厚生センター] Buffalo Daughter (バッファロー・ドーター) / 山本精一

バッファロー・ドーター、山本精一の作品は、会場3Fの同じ展示室内で展示されます。向かい合わせに設置された、音を透過する特殊スクリーンで斜めに仕切られた空間に、ZAKによって立体音響化された音と、イメージを拡張させる映像インスタレーションが展開します。

Buffalo Daughter



«Everything Valley» photo : Satoshi Nagare

Everything Valley (3F展示室/5:58min)

映像はクリエイター 住吉清隆による作品。

音楽は、最新アルバム『We Are The Times』に収録されている。

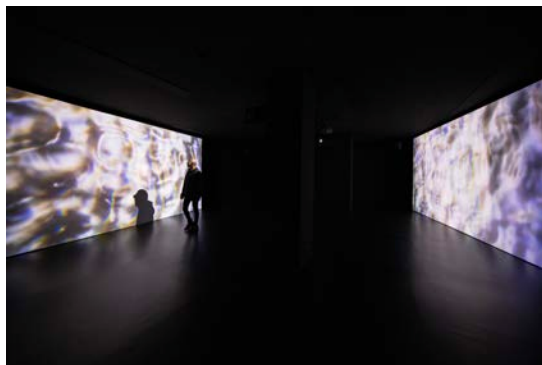


«ET (Densha) » photo : Satoshi Nagare

ET (Densha) (3F展示室/6:19min)

映像はベルリン在住の映像／音響アーティスト 黒川良一による作品。音楽は、最新アルバム『We Are The Times』に収録されている。

山本精一



«Silhouette» photo : Satoshi Nagare

Silhouette (3F展示室/14:23min)

映像は、リキッド・ライティングの手法を用いた ビジュアル・アーティスト 仙石彬人と山本精一による共同制作作品。音楽は、本展のために書き下ろされたアンビエントな新曲。

[朗読] 朝吹真理子



ポッドキャスト配信。デビュー作『流跡』全編の著者自身による朗読をオーディオブックとして楽しめる。

<https://ambientkyoto.com/reading>